１２月号　No９
令和８年１１月３０日
品川区立後地小学校
校長　片岡　大昌
https://ushiroji-es.shinagawa.andteacher.jp/

後地小 学校だより

文章を書く意味

校長　片岡　大昌

「クマノミがリラックスできるように、海そうやイソギンチャクを置いていました。いろんな魚のためにエサのくふうなどもして、やさしいと思いました。」

２年生が生活科見学で水族館に行った振り返りの文の一部です。水槽の中の主役であるクマノミ以外のものにも注目し、飼育員さんの優しさを感じていたようです。自分が体験した（見た、発見した）ことを基に考え、人の思いまで想像し、それを表現できている文章であると感じました。

校舎の中を歩いていると、子ども達の学習成果である作品が廊下や教室の掲示板に所狭しと並んでいます。その作品の中には、子ども達が考えて書いた文章がたくさん含まれており、体験したり、読んだり、観察したり、調べたりした上で考え、表現しようとした成果が見られます。そして教室の中の様子を見ると、鉛筆を持ってひたすら文章を書く子の姿、天井を見上げて、何を書こうか、どのように書こうかを悩んでいるであろう子どもの表情が見られます。そんな子ども達の姿にはある種の頼もしさを感じます。しかし、そんな感覚が得られるのと共に頭に思い浮かぶのが、生成ＡＩの存在です。様々な文書を作成できるＡＩが私達の日常生活に普及している現在において、自力で文章を書くこと、文章が書けるようになるために苦労して学ぶ必要性がどれだけあるのか？という疑問をもつ人がいるのも頷けることです。

先日、新聞を読んでいたとき、「大学入試に生成ＡＩ」という見出しが目に留まりました。出願書類や面接などで入学の審査をする、いわゆるＡＯ入試で事前提出される自己ＰＲ文書の中に生成ＡＩの回答を書き写したものが散見されるという内容の記事でした。ＡＩが急速に発展し、目的に応じて適切且つ正確な文書を作成できる現在において、それを使おうとする考えは自然なことかもしれません。しかし、自分自身を知ってもらうための文章の作成を機械に委ねるとことに対して疑問や不安がわいてきます。それを続けていると、自分の考えを人に伝える際に、常にパソコンやスマートフォンを必要とする大人になるのではないかという疑問、不安です。例えば誰かと話し合いをしていて、考え方の違いから口論になったとします。その時、相手がスマートフォンに表示された文章を読み上げていたらどうでしょうか。その人の話に真剣に耳を傾けようとするでしょうか。

学校教育において文章を書く作業は、自分自身に目を向けること、他者に伝わるよう相手意識をもつこと、その上で学習した言葉を組み合わせて表現する訓練になると考えています。また国語の学習内容において、重要な要素の一つに「思いや経験の表出と想像」が挙げられています。人は何らかの経験をしたとき、その際に抱く思いがあったり、経験を通して想像力をはたらかせたりすることがあります。ＡＩは言葉を組み合わせて文書を作成することはできますが、「経験」を通した「思い」があるわけではないですし、そもそもＡＩは「経験」をしていません。

冒頭で紹介した２年生の作文にもう一度目を向けてみます。水族館で水槽の中を見るという「経験」、その経験を通した「思い」があり、飼育委員さんの優しさを「想像」していることが、この短い文章の中に表れています。　今後ＡＩの進化はさらに進み、教育現場に今以上に導入されていくことは予測されます。学校は、こうしたテクノロジーの進化と上手に並走しながら、自分で文章を書く意味について考え続け、指導をしていくことが大切であると考えています。

ちなみに・・・この文章を書く際に生成ＡＩは使用しておりません。もしかしたら、いくつかのキーワードを使用して生成ＡＩで文章を作れば、よりわかりやすく説得力のある文章になるのかもしれません。しかし、そんなＡＩに対して、どうしてもこう問うてみたくなってしまいます。「子ども達が頑張って文章を書いている姿を見ているときの私の感覚、その成果としての作品を読んでいるときの私の感覚、その感覚が君に理解できるかな？」と。

町たんけん（2年生）

11月24日（火）に、町たんけんに行きました。子ども達は、「どんな仕事をしているのかな？」、「どんな工夫があるのかな？」と、たくさんの疑問をもって出発しました。お店や施設を見学したり、そこで働く方々の話を聞いたりしながらたくさんの発見がありました。子ども達にとって学びの多い時間となりました。



大拍子（4年生）

11月5日（木）に、音楽の学習で大拍子の出前授業を受けました。

後地拍子会の方々に来ていただき、大拍子太鼓の叩き方やリズムを教わりました。地域のお祭りでも使われていることを知り、さらに関心を深めた様子でした。



エバリーさんのミニコンサート（1～4年生）



11月20日（金）５時間目、エバリーさんが演奏しに来てくださいました。１曲目の「トルコ行進曲」では、「作曲したのは誰でしょう？」と聞かれて、いろいろな作曲家の名前が聞こえました。

「マンボNo.５」では、かけ声も入れて楽しい雰囲気になりました。バイオリンの演奏体験では、たくさん手が挙がりました。最後は校歌を歌い、素敵な歌声が体育館に響きました。

社会科見学（5年生）

５年生は、森永製菓の鶴見工場とＪＲ東日本の東京総合車両センターを見学しました。

鶴見工場では、新商品の開発に取り組む様子を目の当たりにし、驚いたことや気付いたことを熱心にメモしていました。車両センターでは、電車の点検・整備の仕事に興味をもち、説明に聞き入ったり、目の前の大きな車両に驚いたりしていました。

見学後は、メモをもとに、伝えたいことが読み手に伝わるよう、見出しやイラストを工夫しながら新聞にまとめました。

身近なお菓子や電車の裏側に目を向け、私たちの暮らしを支える仕事への理解を深める一日となりました。





ポリスミュージアム（3年生）

11月25日（水）に、3年生は社会科「くらしを守る」の学習の一環でとして、五反田ＴＯＣ内にあるポリスミュージアムを見学しました。館内では、警察の仕事や歴史、服装などについて学びました。

子ども達は、警察の展示に興味津々で、「色々な事件を解決してきたんだ」と驚きの声をあげる姿が見られました。また、大切だと思ったことを熱心にメモする姿も印象的で、私たちの暮らしを支える警察の役割について理解を深めることができました。



はたらく車（1年生）

11月6日（金）にはたらく車の出前授業がありました。大きなレッカー車が故障した車を牽引する流れを見せてもらい、子ども達は目を輝かせていました。

また、実際に道具を使って車を持ち上げる体験もしました。重い車が持ち上がると、驚きの声が上がっていました。はたらく車が、どのように私たちの生活を支えているのかを知る、貴重な時間となりました。



食肉市場＆ドリームジョブ（6年生）



11月25日（水）に様々な仕事の方からお話を聞く機会がありました。

食肉市場の方のお話では、動物を加工して私たちに届ける仕事をしている人がいることを知りました。この仕事に対して、これからを生きる子ども達が正しい知識を得て差別や偏見を無くしてほしいという話に真剣に耳を傾けていました。



ドリームジョブでは、職種の違う10人の方に来ていただき、体験等を通して将来について夢を膨らませました。最後のお話の中で「好奇心を大切に。」「好きを手放さないで。」などのメッセージは子ども達の心に強く響きました。

コミュニティ・スクール後地

地域と共にある学校づくり

学校地域コーディネーター　右城
アシスタントコーディネーター　園部・児玉・谷中

学びの秋。11月は２年生のまちたんけん、６年生のドリームジョブが行われ、たくさんの地域の皆様のご協力をいただきました。家庭や学校の外にも、自分たちの育ちを見守り、応援してくださる大人が沢山いることを感じられたのではないかと思います。いつか自分が誰かを支える大人になるために、皆様から学ぶことがたくさんあります。多くのご支援をありがとうございました。



まちたんけん
９施設に伺いました。

ドリームジョブ
１０組のプロを
お招きしました



生活目標　教室や身のまわりをきれいにしましょう	保健目標　かぜ・インフルエンザの予防をしましょう

12月行事予定

日	曜	学校行事等	一年	二年	三年	四年	五年	六年
1	火	安全指導日　クラブ活動　アルバム写真撮影	5	5	5	6	6	6
2	水	午前授業	4	4	4	4	4	4
3	木	避難訓練　あそビバ！ラボ　5時間授業(1～5年)　展覧会準備(6年)	5	5	5	5	5	6
4	金	5時間授業	5	5	5	5	5	5
5	土							
6	日							
7	月	あいさつの日　委員会活動	5	5	5	5	6	6
8	火	特別時程　5時間授業　個人面談①	5	5	5	5	5	5
9	水	特別時程　午前授業　個人面談②	4	4	4	4	4	4
10	木	特別時程　5時間授業　あそビバ！ラボ　個人面談③	5	5	5	5	5	5
11	金	特別時程　5時間授業　個人面談④	5	5	5	5	5	5
12	土							
13	日							
14	月	5時間授業	5	5	5	5	5	5
15	火		5	6	6	6	6	6
16	水	展覧会(児童鑑賞①)	5	5	5	5	5	5
17	木	展覧会(児童鑑賞②)　あそビバ！ラボ	5	5	6	6	6	6
18	金	展覧会(児童鑑賞③・保護者鑑賞)	5	5	5	6	6	6
19	土	展覧会(保護者鑑賞)　特別時程　5時間授業	5	5	5	5	5	5
20	日							
21	月	振替休業日						
22	火	展覧会片付け(6年)	5	6	6	6	6	6
23	水	たてわり班活動　側わん検診(5年)	5	5	5	5	5	5
24	木	給食終	5	5	6	6	6	6
25	金	終業式　大掃除　午前授業	4	4	4	4	4	4
26	土	冬季休業日始						
27	日							
28	月							
29	火	学校閉庁日						
30	水	学校閉庁日						
31	木	学校閉庁日						

特別時程	最終下校時刻
午前授業	12時55分
5時間授業	13時45分

＊スクールカウンセラー(大久保)の出勤日　3日(木)10日(木)17日(木)24日(木)
※スクールカウンセラー(鳥羽)の出勤日　毎週火曜日　金曜日
※今月は、未来塾はありません。

＜感染拡大予防にご協力ください＞
　現在、インフルエンザ症等感染症が流行しておりますが、高熱が出てしばらくして検査をしてもインフルエンザ症と診断されないケースがあると報告を受けています。また、熱が上がったり下がったりする場合もあるようです。そのような際は、無理をせず休養を取るようにしてください。また念のため、再受診していただきますようお願いいたします。

＜区内一斉防災訓練＞
　１３日（日）に、区内一斉防災訓練が行われます。１０時に地域の方が学校に避難してくる訓練となります。地域の防災訓練ですので、ご家族でぜひご参加ください。**学校としての参加はありません。**
また、３日（木）の学校としての避難訓練では、避難所開設を想定した訓練を行います。学年や学級ごとではなく、町会ごとに分かれての避難訓練を実施しますので、自分の住所、所属する町会名を子どもが言えるようにご家庭でご確認をお願いします。